

暮らし

「いざ」というときに慌てないために

お葬式を家族の側で数回経験したが、1回目は大幅に金銭面でオーバーしてしまい、2回目も…、3回目はやっと要領よくできた。なかなか難しい (40代女性)

友人とも時々お葬式の話をするが、経験の範囲内でしか分からないので、プロの意見を聞くと参考になる (50代女性)

私は60代だが、高齢の母もいて、お葬式のことをいつも考えてしまう。時々いろんな斎場を見学に行っている (60代女性)

普段はあまり考えたことがないが、いざというときのため、葬儀社選びが重要だと思う (40代女性)

お葬式についての読者の声

くま経プレス読者から寄せられた意見

老後の生活を模索している私にとって、葬式についての情報は貴重なので、情報収集から始めている (50代男性)

今までは送る側だったが、主役になるときが近づいてきているので、他人事ではなく関心が多いにある (60代女性)

まだ先のことだと思っても、知人や親戚が亡くなると、死を急に身近に感じる。事前に情報を収集し、事前見積りや業者の態度、金額などから総合的な判断が必要だと思う (60代女性)

お葬式 事前相談のススメ

亡くなってからお葬式の準備を始めると、遺族にとって時間的にも精神的にも余裕がなく、葬儀社主導の葬儀になってしまいがち。お葬式トラブルを避けるための最善策が「事前相談」です。

事前相談の流れ

- 1 お葬式の規模(参列者の人数)・形式(宗教)・場所・予算などについて、要望をまとめる
2 葬儀社数社に見積もりを依頼する
3 見積もりを比較して、予算オーバーしていないか、削るならどこを削るかなど、自分の要望に沿ったお葬式の概算を把握する
4 何社かを比較し、相性も含めて自分に合う葬儀社を選定する

事前相談のメリット

- 自分の要望を把握することができる
●事前に概算の費用を把握できる
●希望に合ったお葬式ができる
●ゆっくり考え、交渉できる
●いざというときに落ち着いて行動できる
●費用のかかり過ぎを防げる
●事前に葬儀社の言うことを理解しながら、自分のペースで進められる
●細かい打ち合わせに忙殺されずに、ゆっくりお別れができる
●葬儀社選びに時間がかけられる

知って得する

なるほど! お葬式講座

遺影写真の選び方

～遺族が未永く見守るものだから～

第6回

お葬式で後悔しないための最大の対策は「事前準備」。その中でも取りかかりやすいのが「遺影写真」です。葬儀に関する講演を行っているくまもと県民葬祭の森さんに、選び方のポイントについて伺いました。遺影写真を決めることから、事前準備を始めましょう。



くまもと県民葬祭 森 輝和 社長

ゆっくりと選びたい、大切な遺影写真

最近では生前から自分の遺影写真をどれにするか決めていたり、遺影写真用に撮影をするという人も増えてきています。遺影写真の準備をしないといと、残された家族は、慌しい中で写真を選ばなければなりません。限られた短い時間の中でお葬式について決定しなければならぬことはたくさんあり、家族は大変です。

自分で写真を選ぶ方は多くは、特に女性の場合、10年〜20年程度前の写真を選ぶ人が多いですね。病気で痩せてしまった姿や、治療薬の副作用で顔がむくんだ姿よりも、元気で健康的なときの姿の方が自分らしく、みんなに見てもらいたいという考えがあるようです。

デジタルカメラで撮影している写真であれば、プリントした写真よりもデータを元に遺影写真を作製した方がきれいに仕上がります。ただ、カメラ付き携帯電話で撮影した写真は、一般的に小さなレンズで撮った写真ですので仕上がりが悪くなってしまうので注意を。

くま経プレス4月号掲載 (3月28日発行)
次回テーマ: 葬儀費用を自分で用意する
このコーナーではみなさんからの葬儀に関する質問・ご意見をお待ちしています。お答えまたはメールにてお寄せ下さい。
〒860-8552 (住所記入不要) くま経プレス お葬式講座 係まで
press@kumamoto-keizai.co.jp

メールマガジン(無料)配信中
参列マナーから葬儀業界のウラ話まで、皆様に役立つ情報を毎週火曜日に配信中です。
ご登録はウェブサイトのトップ画面から簡単にご登録できます。
くまもと県民葬祭
www.0077-78-1059.com

遺影の額も選べる時代
遺影で、選ぶのは写真だけとは限りません。遺影写真を入れる額にもさまざまな種類があることを知っていますか? 一般的には黒のフレームが知られていますが、最近では淡い色のフレームなどもあふれています。黒でよいと思っただけですが、みんなの記憶に残るなら、明るい自分の印象がよいという方や、自分の好きな色で個性を出したいと考えている方にはおススメです。写真は同じでも、フレームの色によって雰囲気も随分変わるので、フレームも黒だけではないということを知っておくといかもいいかもしれません。